

2008年度第1四半期 決算説明会

2008年7月30日

富士電機ホールディングス株式会社

2008年度第1四半期 連結決算概要(対前年同期)

当初計画 (単位：億円)

	2007年度 第1四半期	2008年度 第1四半期	増 減
売上高	1,829	1,800 (-6.2%)	-114
営業損益	-30	-56	-26
経常損益	-18	-49	-30
特別損益	-4	-37	-32
四半期 純損益	-4	-66	-61
平均為替レート US\$	120.79円	104.55円	

為替影響 -44
連結除外影響 -68

連結除外子会社
・メタウォーター(水環境)
・FFC(情報システム)

コストダウン +19
差益率差 +5
その他 +18
連結除外影響 +30
価格ダウン -35
為替影響 -24
資本費増* -21
棚卸資産評価
基準見直し -13
コストアップ -5

+72

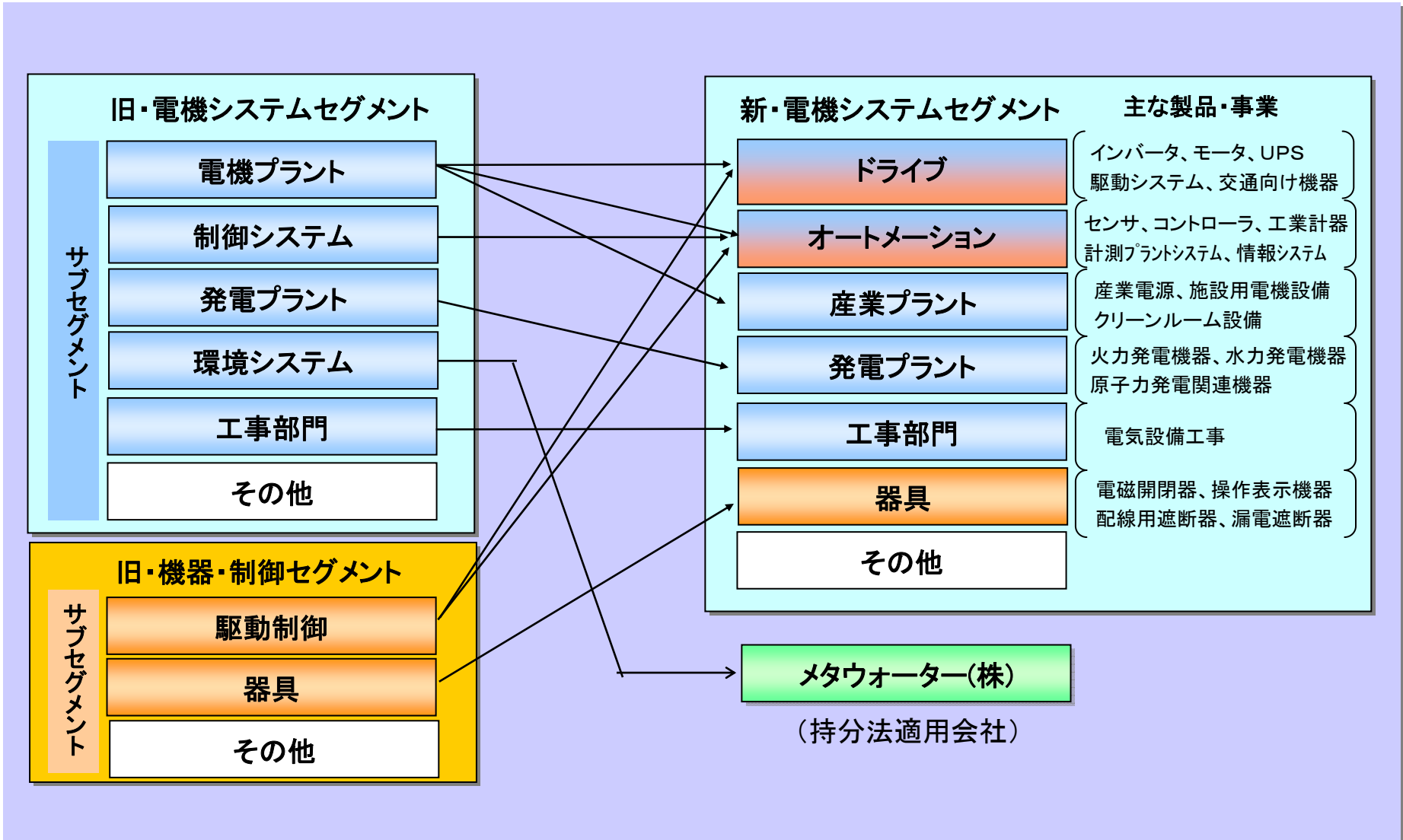
-98

* 連結除外影響除く

構造改革費用
棚卸資産評価損
ほか

金融収支 +5
為替影響 +2
持分法投資損益 -6
その他 -5

事業区分の見直し



(単位: 億円)

		2007年度 第1四半期	2008年度 第1四半期	増 減
売 上 高	電機システム	976	933	-43
	電子デバイス	457	413	-43
	リテイルシステム	411	373	-37
	そ の 他	99	103	+4
	消 去	-115	-108	+6
	合 計	1,829	1,715	-114
営 業 損 益	電機システム	-65	-27	+37
	電子デバイス	23	-43	-66
	リテイルシステム	12	10	-1
	そ の 他	2	4	+1
	消去又は全社	-2	0	+2
	合 計	-30	-56	-26

電機システム

▶売上高は、クリーンルーム設備の大口案件の増加など国内民需向けは堅調に推移したが、水環境事業、情報システム事業の連結子会社除外影響により全体として下回る。
営業損益は、実質的な売上増および連結子会社除外影響により改善。

電子デバイス

▶半導体は、自動車向けは好調に推移する一方、PDPドライバICの低迷、産業用IGBTモジュールの顧客の在庫調整の長期化により売上高は減少。
営業利益も売上減、為替影響などにより悪化。

▶ディスク媒体は、一部機種への切り替えによる出荷減、主要顧客の販売減の影響により売上高は減少。
営業損益も受注減に伴う生産減、資本費増、為替影響などにより大幅悪化。

▶画像デバイスは価格低下影響により減収減益。

リテイルシステム

▶売上高は、たばこ自販機成人識別改作作業の需要終息、コールドチェーン機器の減少により下回る。
▶営業損益は、昨年実施した構造改革により前年同期並。

(単位:億円)

		2008年度 第1四半期 計 画	2008年度 第1四半期 実 績	増 減
売 上 高	電機システム	970	933	-37
	電子デバイス	470	413	-57
	リテイルシステム	370	373	+3
	そ の 他	100	103	+3
	消 去	-110	-108	+2
	合 計	1,800	1,715	-85
営 業 損 益	電機システム	-40	-27	+13
	電子デバイス	-10	-43	-33
	リテイルシステム	15	10	-5
	そ の 他	-5	4	+9
	消去又は全社	-5	-0	+5
	合 計	-45	-56	-11

電機システム

- ▶売上高は、一部のプラント製品の納期の延伸および器具の国内市況の低迷により下回る。
営業損益はプラント製品の差益率好転などにより改善。

電子デバイス

- ▶半導体は、産業用IGBTモジュールの顧客の在庫調整の長期化により売上高、営業損益ともに計画を下回る。
- ▶ディスク媒体は、売上高は一部機種の手切り替えによる出荷減、主要顧客の販売減の影響により下回る。
営業損益も、受注減に伴う生産減により大幅悪化。

2008年度第1四半期 連結貸借対照表

資産の部

	08/03/31	08/06/30	増 減
現金及び預金	222	155	-66
売上債権	2,865	2,127	-737
棚卸資産	1,667	1,893	+226
その他	557	562	+4
流動資産 計	5,312	4,739	-573
有形固定資産	1,832	1,902	+69
無形固定資産	108	92	-16
投資その他の資産	3,101	3,368	+266
固定資産 計	5,042	5,362	+320
繰延資産	4	4	0
資産 合計	10,359	10,106	-252

負債、純資産の部

(単位: 億円)

	08/03/31	08/06/30	増 減
買入債務	1,866	1,530	-335
金融債務	3,562	3,350	-211
その他負債	2,297	2,510	+213
負債 合計	7,726	7,392	-334
資本金	475	475	0
資本剰余金	467	467	0
利益剰余金	1,164	1,074	-90
自己株式	-70	-70	0
株主資本	2,037	1,946	-90
評価・換算差額等	507	703	196
少数株主持分	88	64	-23
純資産 合計	2,632	2,714	+82
負債・純資産合計	10,359	10,106	-252

自己資本	2,544	2,650	+105
自己資本比率(%)	24.6	26.2	+1.6
D/Eレシオ(倍)	1.4	1.3	-0.1

(単位: 億円)

	2007年度 第1四半期	2008年度 第1四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	-88	216
投資活動によるキャッシュ・フロー	-91	-22
フリー・キャッシュ・フロー	-179	193
財務活動によるキャッシュ・フロー	227	-268
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	5
現金及び現金同等物の増減額	50	-70
現金及び現金同等物の期首残高	191	220
連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	0	3
現金及び現金同等物の期末残高	242	154

2008年度上期 連結業績予想(対当初計画)

(単位：億円)

	2008年度 上期 当初計画	2008年度 上期 今回予想	増減
売上高	4,000	3,840	(-4.0%) -160
営業損益	5	-75	-80
経常損益	5	-80	-85
当期純利益	-70	-115	-45

資本費減 +7
 為替影響 +7
 その他 +8
 売上減 -83
 棚卸資産評価
 基準の見直し -8
 価格ダウン -7
 コストアップ -4

+22

-102

為替影響 -11
 金融収支 +4
 持分法投資損益+2

平均為替レート US\$	100.00円	102.28円
-----------------	---------	---------

※第2四半期の前提為替レート:100円/1USD

第2四半期の為替1円影響 営業損益ベース:1.3億円/USD

(単位:億円)

		2008年度 上期 当初計画	2008年度 上期 今回予想	増減
売上高	電機システム	2,250	2,230	-20
	電子デバイス	1,040	900	-140
	リテイルシステム	730	730	0
	その他	220	220	0
	消去	-240	-240	0
	合計	4,000	3,840	-160
営業損益	電機システム	-20	-20	0
	電子デバイス	20	-60	-80
	リテイルシステム	10	10	0
	その他	5	5	0
	消去又は全社	-10	-10	0
	合計	5	-75	-80

電機システム

▶プラント製品はほぼ計画通りに推移する一方、器具は国内市況が低迷し、売上高は当初計画を下回る見通し。
営業損益は当初計画並。

電子デバイス

▶半導体は、産業用IGBTモジュールの顧客の在庫調整の長期化により、売上高、営業損益ともに当初計画を大幅に下回る見通し。
▶ディスク媒体は、一部機種 of 切り替えに伴う出荷減、主要顧客の販売減の影響により、売上高は当初計画を大幅に下回る見通し。
営業損益は、受注減に伴う生産の減少、新機種立ち上げに伴う良品率の悪化などにより当初計画を大幅に下回る見通し。

リテイルシステム

▶当初計画どおり推移する見通し。

2008年度通期予想 部門別売上高・営業利益(対当初計画)

(単位：億円)

	2008年度 通期 当初計画	2008年度 通期 今回予想	増減
売上高	9,250	8,900	-350 (-3.8%)
営業利益	420	225	-195
経常利益	420	225	-195
当期純利益	200	80	-120
平均為替レート US\$	97.50円	98.64円	

(単位：億円)

		2008年度 通期 当初計画	2008年度 通期 今回予想	増減
売上高	電機システム	5,500	5,440	-60
	電子デバイス	2,350	2,020	-330
	リテイルシステム	1,480	1,480	0
	その他	490	490	0
	消去	-570	-530	+40
	合計	9,250	8,900	-350
営業利益	電機システム	225	200	-25
	電子デバイス	160	10	-150
	リテイルシステム	40	20	-20
	その他	15	15	0
	消去又は全社	-20	-20	0
	合計	420	225	-195

第2四半期の前提為替レート: 100円/1USドル 160円/1ユーロ

下期の前提為替レート: 95円/1USドル 150円/1ユーロ

第2~4四半期の為替1円影響 営業損益ベース: 4.5億円/USドル 0.6億円/ユーロ

1. 本資料および本説明会に含まれる予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
2. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社により何らかの行動を勧誘するものではありません。
3. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。